



2019.11.1 NO.49

保育室 すまいる

### <月のテーマ：ためす>

## 年齢別 月の保育のねらい

### <1歳児>

- いろいろなことに興味を持ち、ためす。
- 木の実や落ち葉に触れ、深まりゆく秋を感じる。

### <2歳児>

- 友だちと遊びの中で主張したり、思いを言葉で伝える。
- 遊びが深まり、興味をもったことをためしてみる。

### <3歳児>

- 秋の実りの豊かさや美しさに触れ、季節の変化を感じる。
- 身の回りのことや生活の中で必要なことを、自分でしようとする。

### <4歳児>

- 好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共有しながら過ごす。
- 自然の美しさや不思議に気づき、興味・関心を持つ。

### <5歳児>

- 友だちとアイデアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる。
- 様々な人の働きに関心を持ち、身近に感じる。

### <学童>

- 大胆な遊びに挑戦し、感受性を豊かにしていく。



## <ハロウィンパーティーをしよう！>

10月25日(金)、学童の子どもたちから『ハロウィンパーティーをしよう』という提案がありました。「いつする？」と日程の相談をすると、「月曜日と水曜日は5時間だけど後は6時間だから・・・」「水曜日は、RちゃんとKちゃんが来ないし、火曜日はMちゃんが来ない日だから、月曜日だったら5時間だしいいんじゃない？」と提案があり、10月28日(月)にハロウィンパーティーをすることにしました。

早速、学童の子どもたちは、ハロウィンパーティーの準備を始まりました。黒のビニール袋を利用してマントを作ったり、骸骨の洋服を作ったり、迷路を作ろうと段ボールを集めたり・・・学童のメンバーは時間を惜しんで準備を進めましたが、この日はお迎えが来て時間切れ・・・「月曜日来たら続きするから取っておいてね！」の言葉を残して帰って行きました。

毎年恒例になった、お化けカボチャのランタン作り。今年も大きなかぼちゃを入手し、月曜日に作ることにしました。去年のことを覚えていた子どもたちは、「前も作ったよね！」と作る気持ちいっぱい、かぼちゃの実を掘るのに使うスプーンを片手に自分たちの出番を今か今かと待ち受けていました。K先生が大きなかぼちゃに口・目・鼻の絵を描き、その絵に沿って、包丁やカッターナイフで固い皮を切っていました。切ったところからスプーンを持った子どもたちが実を掘って行きました。年長のKちゃんとYくんは、様子をじっと見ている、「僕たちもてつどう？」と小さい子たちがやり残した部分を丁寧に、取り出してくれました。

そして、完成です。ろうソクに火を灯し、電気を消すと・・・「わあーきれい・・・」と歓声が上がりました。

28日(月)、保育室のメンバーに「今日はハロウィンパーティーをみんなでするんだって」と話をすると「やったー!!」とやる気満々、「小学生をおどかしたいんだ…。お化けのお洋服作っておどかそうか」と提案すると大賛成。白いビニール袋を使ってお化け作りをし、お菓子をもらうためにネコのバックを作りました。

学童の子どもたちの宿題が終わる頃、保育室のメンバーは、お化けの衣装を着てあちこちに隠れました。学童のメンバーは、準備の続きができないことを残念に思いながらも保育室のメンバーの企画にのって来て、隠れている子どもたちを探したり、学童の子たちがおどかしたりしながら、保育者を探し「おかしくれなきゃ、いたずらするぞ」と言ってお菓子をもらって歩きました。無事にお菓子を手にした子どもたちは、嬉しそうにお菓子を頬張りました。